

還曆を賀す
(松口月城)

六十の生涯徳と仁と

醇高の風格万人に親しむ

宜なる哉積善余慶在り

自適悠悠華甲の春

語釈 ※還曆 数え年六十一歳の称。六十年で再び

生まれた年の干支に還るからいう。※醇高 人情・

風俗などの高いこと。※宜 〓もつともであること。

なるほど。※積善 〓善行を積み重ねること。※余慶

〓先代の功德の報いとして子孫の上に来る吉事。※華

甲 〓数え年六十一歳の称。(華の字を分解すれば六つ

の十と一となる。甲は甲子意。